ニュースリリース

2025 年 9 月 5 日
レイズネクスト株式会社
（証券コード 6379）

プラント定期修理工事における、職場環境改善の取組
コミュニケーションスペース「えね屋」で、安全と品質の向上を目指す

レイズネクスト株式会社（本社：神奈川県横浜市／代表取締役社長：毛利 照彦）では、お客様である ENEOS 株式会社仙台製油所での定期修理工事現場において、工事関係者のための休憩スペース「えね屋」を展開しています。職場環境の改善とコミュニケーションの促進を通じて安全と品質の向上を目指す取組です。



ENEOS 仙台製油所内「えね屋」


安全ビデオを放映するデジタルサイネージ


氷水から取り出す飲料コーナー
背面には寄せ書きボードが掲示されている

■背景と概要

製油所をはじめとしたプラントの定期修理工事（以下定修）は、プラントの安全かつ安定的な稼働を維持するために不可欠なメンテナンス工事です。稼働を止めて限られた期間で工事を行うため、改修技術や作業効率が求められており、夏季の定修環境は年々厳しくなっています。

レイズネクスト北日本事業所では、ENEOS 株式会社仙台製油所様（以下 ENEOS 仙台製油所）のご理解を得、昨年夏より熱中症対策の一環として始まった従事者向け休憩スペース「えね屋」を本年さらに拡充しました。日陰のエリアに設けられた「えね屋」のスペースでは、熱中症対策に効果のある飲料、かき氷、バナナなどが無料提供され、単なる休憩所とは違った、従事者同士のコミュニケーションの場となっています。人工芝の設置や横になれる縁台を設けるなど、休憩時間の快適性に配慮。デジタルサイネージを設置して情報の迅速な共有も行っています。

■「えね屋」の成果

「えね屋」での対話を通じた連帯感により、現場ではリスクへの気づきが高まり、安全意識や品質改善への取り組みが

活性化しました。「また来たい定修」という北日本事業所のスローガンのもと、従事者同士のネットワークが構築され、人員不足が課題となる中でも、優秀な人材が再び現場に戻ってくる好循環が生まれています。さらに、休憩所の配置により現場との移動時間が短縮され、作業効率が向上。これにより残業時間も削減されました。現在、無災害記録は 2 年間継続しており、「えね屋」が大きく貢献していると考えています。

■今後について

この取組は、ENEOS 仙台製油所の理解と協力のもとに進められています。レイズネクスト北日本事業所では、今後も表彰制度などの新たな施策を検討し、「えね屋」の活動を通して顧客・協力会社・社員の連携につなげます。このようなコミュニケーションを軸とした職場環境の改善を継続し、プラント定修における安全性と品質の向上を目指します。

■会社概要

レイズネクスト株式会社

事業内容：石油、石油化学、ガス、一般化学、非鉄金属、金属加工、電子材料、資源リサイクル、電力、原子力、再生可能エネルギー、分散型エネルギー、製鉄、石炭、造水、飼料、生化学、食品、医薬品、医療品、医療、情報・通信、運輸・輸送、流通、備蓄、空気調整・給排水、公害防止、災害防止、環境保全等の機器、装置、設備、施設、資機材、学術研究、システムおよびプロセスに関する下記の事業

1. 総合的エンジニアリング業務およびコンサルティング業務
2. 装置、機器の製造、調達、修理および賃貸
3. 装置、機器の設置、土木建築、電気計装、配管等の工事の設計、監理および施工
4. 設備、装置の保全業務
5. 研究、開発、技術支援および受託

設立　　：1938 年 7 月
代表者　：代表取締役社長　毛利　照彦
資本金　：2,754 百万円
従業員数：1,691 名（2025 年 3 月 31 日現在）
みなとみらい本社：神奈川県横浜市中区桜木町 1-1-8 日石横浜ビル
磯子本社：神奈川県横浜市磯子区新磯子町 27-5
事業所　：北日本、鹿島、千葉、川崎、横浜、新潟、名古屋、大阪、和歌山、水島、岩国、徳山
工場　　：磯子、千葉
HP　　：https://www.raiznext.co.jp/
本件に関する問い合わせ：経営企画部 広報・IR グループ 代表電話：080-2686-6422